浴衣姿で打ち水をする職員ら＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

浴衣姿でクールダウン

多治見市で東濃信金が打ち水

東濃信用金庫の職員らが4日、多治見市制記念花火大会（岐阜新聞社、岐阜放送など後援）に合わせ、同市本町の本店前で浴衣姿で打ち水をした。

小林豊子きもの学院ホワイトタウン教室（同市脇之島町）で着付けの講師を務め、東濃信金元職員でもある加藤恵美さんが呼び掛けて行った。本店や市内の支店で勤務する職員ら約20人が参加した。

職員は加藤さんの指導を受けて浴衣に着替え、本店前でバケツの水を合図に合わせてまいた。10年ぶりに浴衣を着た広小路支店の若尾綾乃さん（22）は「町は暑いが、涼しい気持ちで打ち水をした。いろんな支店の人たちと一緒に楽しめた」と笑顔で話した。（山本貴史）

無断複製・転載を禁じます